

# 東邦車輛製ダンプ架装物解体マニュアル

適用機種 ダンプセミトレーラ	(TE, TF, TL, TU型)	該当ページ ・・・P1～P4
-------------------	-------------------	-------------------

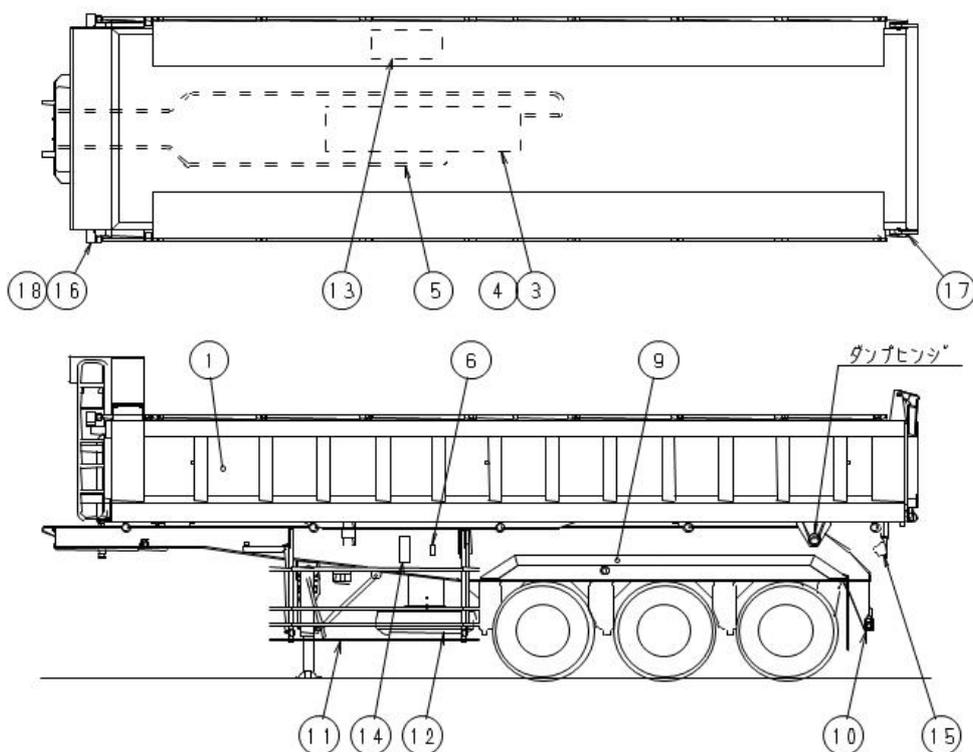
- ・本解体マニュアルは、解体についての指針を示したものであり、本マニュアル通りの解体方法を、強制するものではありません。
- ・本解体マニュアルは一般的な解体例を示し、掲載された図等は実物と異なる場合があります。
- ・ダンプ架装物以外の解体につきましては、東邦車輛製トレーラ解体マニュアルを併せてご確認ください。

## 内 容

1. ダンプ架装物の構造概要と主要品目表
2. ダンプ架装物の解体マニュアル
3. お問い合わせ窓口

東邦車輛株式会社

## 1. ダンプ架装物の構造概要と主要品目表



注意 1. 上図は一般的なダンプセミトレーラの例を表示しており、トレーラ型式及び仕様により形状などが異なる場合があります。

## 主要品目表

品目番号	品目名称	品目番号	品目名称
1	ダンプ荷台	10	リヤバンパー
2	サブフレーム	11	サイドガード
3	ダンプホイス機構	12	スペアタイヤキャリア
4	油圧機器	13	ツールボックス
5	配管&ゴムホース	14	グリス給脂装置
6	自重計&ホース	15	外装部品
7	ドライブシャフト	16	飛散防止装置
8	サブフレーム固縛用Uボルト等	17	テールゲート等のパッキン
9	リヤフェンダー	18	天蓋

品目番号2、7及び8は使用していません。

## 2. ダンプ架装物の解体マニュアル

品目番号	品目名称	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	ダンプ荷台が空であることを確認し、外装部品を取外して下さい。 (サイドガード、スペアタイヤ、ツールボックス、リヤフェンダ等)	取扱説明書の安全のために を参照願います。
	事前処理Ⅱ	荷台が下りた状態(走行状態)で作業します。 シリンダとゴムホースの接続部を外し、作動油を抜いて下さい。 オイルパンは油圧機器を取り外すまで用意して置いて下さい。	作動油を受けるための オイルパン等を用意して 下さい。
車両全体	ダンプヒンジ	ダンプヒンジのピン又はシャフトを抜いて下さい。	周囲の安全を確認して 下さい。
車両全体	ダンプ荷台全体	天井クレーンを使用して、ダンプ荷台を水平に吊上げて下さい。	ワイヤ掛けを確実に 行い、安全確認して 下さい。
車両全体	ダンプ荷台降ろし	ダンプ荷台とダンプホイスト機構を降ろして下さい。	クレーン等を使って 安全に注意して 下さい。
車両全体	ダンプ ホイスト機構	配管等を外し、ダンプホイスト機構を繋いでいるピン・ボルト等を 外し、ダンプ荷台をシャシから降ろして下さい。	クレーン等を使って 安全に注意して 下さい。
車両全体	サブフレーム固縛	本品目は使用していません。	
1	ダンプ荷台	溶断等により裁断し、材質により分別して下さい。	切断ヒューム、粉塵等に 注意して下さい。
2	サブフレーム	本品目は使用していません。	
3	ダンプホイスト機構	ダンプリnkは金属類と樹脂類(ブッシュ)に分別して下さい。	
4	油圧機器	各機器から油を抜いて下さい。 油圧機器(シリンダ、バルブ)は専門業者に委託して適切に処理して 下さい。	オイルパン等を用意して 下さい。
5	配管&ゴムホース	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。	オイルパン等を用意して 下さい。
6	自重計&ホース	内部残油を抜いて、金属類とゴム類に分別して下さい。 (通常、土砂積載車に装着されています。その他については 装着されていない事があります。)	オイルパン等を用意して 下さい。
7	ドライブシャフト	本品目は使用していません。	
8	サブフレーム固縛用 Uボルト等	本品目は使用していません。	
9	リヤフェンダー& マッドガード	金属類とゴム、樹脂類に分別して下さい。	
10	リヤバンパー	取り外し、分別して下さい。 反射器等が付いている時は、金属類と樹脂類に分別して下さい。	
11	サイドガード	取り外し、分別して下さい。	
12	スペア タイヤキャリア	取り外し、分別して下さい。	
13	ツールボックス	取り外し、分別して下さい。	
14	グリス給脂装置	金属類と樹脂類(グリスチューブ)に分別し、グリスとチューブは 適切に処理して下さい。	
15	外装部品	取り外し、分別して下さい。	
16	飛散防止装置	取り外し、金属類とシート類に分別して下さい。 電動モーターが有る場合は配線も分別して下さい。	荷台に溶接取付されて いる場合があります。
17	テールゲート等の パッキン	荷こぼれ防止のため、パッキンが装着されている場合は金属類と ゴム、樹脂類に分別して下さい。	パッキンが接着されて いる場合があります。
18	天蓋	飛散防止装置のため、手動式、油圧式等の天蓋が付いている 場合は金属類とゴム、樹脂類に分別して下さい。	荷台に溶接取付されて いる場合があります。

### 3. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルについてお問い合わせがありましたら下記にて受付け致します。

東邦車輛株式会社 営業本部 業務部 業務課 TEL : 045-575-9901